



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月1日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社
コード番号 7981 URL <https://www.takara-standard.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部管掌 (氏名) 梅田 馨
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6962-6002

2023年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	114,696	4.2	5,306	△12.8	5,499	△13.9	4,430	6.7
2023年3月期第2四半期	110,096	8.4	6,086	△21.1	6,390	△19.9	4,150	△23.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,114百万円 (12.0%) 2023年3月期第2四半期 4,564百万円 (△21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	63.37	—
2023年3月期第2四半期	57.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	269,793	182,382	67.6	2,642.46
2023年3月期	279,878	181,516	64.9	2,579.88

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 182,382百万円 2023年3月期 181,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	27.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,300	3.5	14,100	28.9	14,500	26.2	9,500	12.9	135.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	70,368,194 株	2023年3月期	70,368,194 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	1,348,276 株	2023年3月期	9,747 株
------------	-------------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	69,912,226 株	2023年3月期2Q	72,410,947 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響はあるものの、経済活動の正常化に伴い個人消費やインバウンド需要を中心に緩やかな回復基調にて推移いたしました。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は持家や分譲住宅の減少により前年を下回っているものの、リフォーム需要は底堅く推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、長期化する資材・エネルギー価格高騰への対策として、合理化投資による生産性の向上やデジタル技術の活用に取り組むとともに、2023年4月のシステムキッチンや洗面化粧台の価格改定に続き8月にシステムバスについても改定を行い、収益力の改善を図ってまいりました。

商品面での取り組みにつきましては、ホーローシステムキッチンのフラッグシップモデル「レミュー」を8月にモデルチェンジいたしました。世界初のホーロー3Dインクジェット印刷技術の活用で扉の側面にも柄を施せるようになり、これまで以上に高級感のあるキッチンに生まれ変わりました。また、10年間内部のお手入れが不要なホーロー製レンジフード「キープクリーンフード」（2023年度グッドデザイン賞受賞）を新発売するなど、高いデザイン性と機能性の両方を実現し、高級価格帯での売上拡大を目指してまいります。

ショールーム展開といたしましては、埼玉県・川口ショールームの移転や愛知県・豊橋ショールームのリニューアルなど展示内容の充実を図り、リフォーム需要の掘り起こしを行ってまいりました。

以上の諸施策の推進により、第2四半期連結累計期間における売上高は過去最高となりましたが、利益面では2023年度実施の価格改定の反映が想定よりも時期ずれしたこともあり、売上高1,146億9千6百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益53億6百万円（同12.8%減）、経常利益54億9千9百万円（同13.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益44億3千万円（同6.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①住宅設備関連事業

当セグメントの売上高は1,145億6千4百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は51億8千9百万円（同13.0%減）となりました。

当セグメントの製品部門別の状況は、次のとおりであります。

a キッチン

新築市場、リフォーム市場ともに価格改定の効果もあり、売上が拡大しました。新築市場におきましては木製システムキッチンの拡販が進み、リフォーム市場におきましては中高級シリーズのホーローシステムキッチン「レミュー」・「トレーシア」の拡販が進んだことから、売上高は680億3千万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

b 浴室

新築市場、リフォーム市場ともに売上が拡大しました。2022年8月に発売しましたシステムバス「グランspa」がリフォーム市場を中心に、新築市場でも拡販が進んだことに加え、新築マンション向けシステムバスも順調に拡販が進んだことから、売上高は285億2千6百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

c 洗面化粧台

新築市場、リフォーム市場ともに価格改定の効果もあり、売上が拡大しました。新築市場におきましては木製洗面化粧台の拡販が進み、リフォーム市場におきましては中高級シリーズのホーロー洗面化粧台「エリーナ」・「ファミリーユ」の拡販が進んだことから、売上高は129億7千8百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

②その他の事業（不動産賃貸事業及び倉庫事業等）

売上高は2億1千万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は1億1千7百万円（同1.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ100億8千5百万円減少し、2,697億9千3百万円となりました。主な減少は、現金及び預金183億5千4百万円であり、主な増加は、売掛金23億4千5百万円、棚卸資産22億6千6百万円、電子記録債権19億3千8百万円、有形固定資産7億9百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ109億5千1百万円減少し、874億1千万円となりました。主な減少は、電子記録債務106億8千6百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ8億6千6百万円増加し、1,823億8千2百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益44億3千万円、その他有価証券評価差額金4億3千6百万円であり、主な減少は、自己株式の取得による24億1千8百万円、剰余金の配当による18億2千9百万円であります。

この結果、自己資本比率は67.6%（前連結会計年度末は64.9%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ183億5千4百万円減少し、620億2千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、114億9千6百万円（前年同四半期は7億1千万円の増加）となりました。主な要因は、一部の購入先への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少や、売上債権及び棚卸資産の増加による資金の減少と、税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、21億6千2百万円（前年同四半期は34億7千8百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出と、投資有価証券の売却による収入であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、46億9千6百万円（前年同四半期は68億1千万円の支出）となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出及び配当金の支払い等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に発表いたしました連結業績予想については現時点で変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,376	62,022
受取手形	4,545	3,901
売掛金	33,376	35,721
電子記録債権	30,824	32,763
商品及び製品	13,602	14,715
仕掛品	4,245	4,559
原材料及び貯蔵品	6,400	7,239
その他	410	1,749
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	173,775	162,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,490	23,945
土地	36,765	36,533
その他(純額)	22,113	23,598
有形固定資産合計	83,369	84,078
無形固定資産	1,651	1,826
投資その他の資産		
投資有価証券	12,057	12,284
その他	9,033	8,949
貸倒引当金	△9	△11
投資その他の資産合計	21,081	21,221
固定資産合計	106,102	107,127
資産合計	279,878	269,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,953	18,428
電子記録債務	31,937	21,251
短期借入金	8,100	7,650
未払法人税等	1,970	2,643
その他	14,140	15,018
流動負債合計	76,102	64,992
固定負債		
退職給付に係る負債	18,767	18,911
その他	3,492	3,506
固定負債合計	22,259	22,418
負債合計	98,361	87,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,734	30,734
利益剰余金	120,322	122,895
自己株式	△12	△2,431
株主資本合計	177,402	177,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,784	5,220
土地再評価差額金	1,969	1,998
退職給付に係る調整累計額	△2,639	△2,392
その他の包括利益累計額合計	4,114	4,826
純資産合計	181,516	182,382
負債純資産合計	279,878	269,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	110,096	114,696
売上原価	72,338	76,260
売上総利益	37,758	38,435
販売費及び一般管理費	31,672	33,128
営業利益	6,086	5,306
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	265	200
その他	86	40
営業外収益合計	355	243
営業外費用		
支払利息	26	22
製品安全対策費用	10	14
その他	14	13
営業外費用合計	51	50
経常利益	6,390	5,499
特別利益		
固定資産売却益	117	45
投資有価証券売却益	—	1,146
特別利益合計	117	1,192
特別損失		
固定資産除却損	243	135
固定資産売却損	141	115
投資有価証券評価損	7	—
減損損失	34	9
創業110周年記念費用	68	—
特別損失合計	495	260
税金等調整前四半期純利益	6,012	6,431
法人税等	1,862	2,001
四半期純利益	4,150	4,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,150	4,430

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,150	4,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	436
退職給付に係る調整額	236	247
その他の包括利益合計	413	683
四半期包括利益	4,564	5,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,564	5,114
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,012	6,431
減価償却費	3,317	3,484
減損損失	34	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	147	500
受取利息及び受取配当金	△268	△203
支払利息	26	22
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,146
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	23	68
有形固定資産除却損	243	135
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,684	△3,666
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,739	△2,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,195	△12,886
その他	△2,445	△999
小計	2,871	△10,514
利息及び配当金の受取額	268	203
利息の支払額	△24	△21
法人税等の支払額	△2,405	△1,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	710	△11,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△16	△8
投資有価証券の売却による収入	1	1,554
有形固定資産の取得による支出	△4,059	△3,903
有形固定資産の売却による収入	742	348
無形固定資産の取得による支出	△140	△151
貸付金の回収による収入	59	47
その他	△66	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,478	△2,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,600	△450
自己株式の取得による支出	△2,873	△2,418
配当金の支払額	△2,336	△1,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,810	△4,696
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,578	△18,354
現金及び現金同等物の期首残高	88,607	80,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	79,029	62,022

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,338,400株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,418百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,431百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	97,026	—	97,026	—	—
工事	12,933	—	12,933	—	—
その他の売上高	—	16	16	—	—
顧客との契約から 生じる収益	109,959	16	109,976	—	—
その他の収益	—	120	120	—	—
外部顧客への売上高	109,959	136	110,096	—	110,096
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	74	74	△74	—
計	109,959	211	110,171	△74	110,096
セグメント利益	5,967	118	6,086	—	6,086

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	100,908	—	100,908	—	—
工事	13,655	—	13,655	—	—
その他の売上高	—	18	18	—	—
顧客との契約から 生じる収益	114,564	18	114,582	—	—
その他の収益	—	114	114	—	—
外部顧客への売上高	114,564	132	114,696	—	114,696
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	77	77	△77	—
計	114,564	210	114,774	△77	114,696
セグメント利益	5,189	117	5,306	—	5,306

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。